



1学期がもう終わります。6・7月は大雨の影響で、高鍋町内でも臨時休校になったり避難勧告が出たりするなど、例年より「命の危険」について考えさせられることの多かった学期でした。

いのちの大切さについて考える

夏休みを前にして、7月第1週は「宮崎県いのちの教育週間」として、学校や関係機関などが連携して、県下一斉で「いのち」について考える取組が推進されました。東中学校では6月中旬に、交通事故で息子さんを亡くした遺族の方から「命の大切さ」について講演をしていただき、7月には各学級でも「一人一人の命」について考える機会をつくりました。

7月20日から長い夏休みに入ります。自分や他の人の命の大切さやについて、ぜひ家庭でも話す機会をもちましょ。 「自分の命は自分で守る」。各自が水の事故や交通事故等に十分に気を付けて、安全で楽しい夏休みにしましょう。



宮崎県「いのちを大切にす教育」

2年生 修学旅行 広島・関西で学ぶ

7月1日(月)から3泊4日の行程で、広島・京都・大阪へ行ってきました。外国人をはじめ多くの観光客からも注目された広島での平和集会、計画とチームワークが試された京都市内での班別自主研修、楽しさ全開のUSJ(大阪)など、多くの学びがあった修学旅行でした。

荒天のために、フェリーでの延泊になりましたが、生徒たちは落ち着いて行動していました。何より感心したのは、2度にわたったUSJの集合時間をどの生徒もしっかりと守り、「臨機応変」に対応できたことでした。帰路は大雨で大変心配しましたが、病気や事故等もなく、全員が無事に帰ってくることができました。



1年生 ふるさと探訪

12日(金)に、1年生がグループや個人で設定したテーマに分かれて、高鍋町内の農商工業の事業所や文化財施設等を訪問して見学・調査を行いました。後日に発表会を行います。



身近にある高鍋町のキャベツが
どういうものなのかよく知ることが
できました。私たちの質問を写
真やパンフレットなどを使ってい
ねいに詳しく教えてくださって、と
てもわかりやすく、キャベツにつ
いてもっと知りたくなりました。ま
た、キャベツを作るにはたくさん
の苦労がかかっていることが分かっ
たので、もっとよく味わって食べ
たいなと思いました。

3年生 認知症サポーター養成講座

5日(金)に本校多目的室で、高鍋町社会福祉協議会や認知症介護者のつどいメンバーのみなさんのご指導の下に、「認知症サポーター養成講座」を行いました。

高鍋町の認知症の取組についての説明の後に、認知症の人や介護者の気持ちを聞かせていただいたり、認知症の症状や対応の仕方についてグループワークを行ったりするなど、多くのことを学ぶことのできた講座でした。

また他にも、12日(金)に本校で福祉体験学習も行いました。

